

令和7年2月21日
教育長職務代理者答弁実録
（教育委員会）

（問）県立高校への防災専門学科の設置について

防災分野の次世代を担う人材の育成に向けて、県立高校に防災専門学科の設置を検討してほしいと考えるが、教育長の所見を伺う。

（答）

近年、各地で災害が激甚化・頻発化する中、本県におきましても、平成30年7月豪雨災害を始めとして、甚大な災害が発生しており、こうした自然災害に適切に対応するため、防災・減災を担う人材の育成は重要であると認識しております。

このため、県立高等学校におきましては、全ての生徒が履修する「地理総合」で、ハザードマップなどを基に居住地域の自然環境について考察し、地域に合った防災の在り方について協議しております。

また、「総合的な探究の時間」などにおきましても、防災を地域課題として取り上げ、ドローンを活用し、地形の測量や分析、土砂災害の発生の可能性がある箇所の予測を生徒が行ったりするなど、防災意識の向上等に取り組んでいるところでございます。

こうした取組を更に専門的に実施することを目的として、御指摘の専門学科を設置する場合には、

- ・ 設置目的の明確化、
- ・ 社会的要請の把握と対応策の検討、
- ・ 専門人材の確保や教育環境の整備

など、他県の事例も踏まえ、様々な観点から検討を行う必要があると考えております。

教育委員会といたしましては、引き続き、防災教育の更なる充実に取り組むとともに、現在、全県的な見地に立って県立高等学校の10年後の在り方を検討していることも踏まえまして、地域の防災・減災を担う人材の育成に向けた望ましい在り方につきましても、その検討過程の中で、議論してまいりたいと考えております。